

人・自然・地球共生プロジェクト成果報告会 ―新世紀重点研究創世プランRR2002―

(東京オリンピック記念青少年総合センター, 22-23rd March, 2007)

2002年から5年間続いたシベリアのプロジェクトの成果発表会です。我々のグループは安岡先生(東大)の「陸域生態系モデルのパラメタリゼーションに関する研究」の一部として発表しました。

我々のグループは、現地でのパラメータ調査を行う研究班、衛星データから現地の炭素循環を推定する班、これらのデータを統合して大型コンピュータを利用したシミュレーションモデルで地球規模の炭素循環を計算する班まで、バランス良い理想的な組織でミッションにあたることができました。

私の役割は、シベリアタイガを代表するカラマツ成熟林の炭素循環のメカニズムを光合成のプロセスを中心に解明して、シミュレーションモデルへパラメータを提供することでした。

灌水実験、伐採試験、火災実験など、森林生態系を対象にした多くの操作実験やドラスティックに変化する気象条件の年変動などを通じて、炭素循環のプロセスを解明することができました。

このシベリアでの研究は、文部科学省の科学研究補助金(基盤A海外学術)で継続してゆきます。

